

## 第3回 SCREENホールディングス・AFIテクノロジー共催ウェブセミナー

## 発表内容

新しいラベルフリー分析方法による  
*Campylobacter jejuni* 解析の最前線

2025年 2月27日 (木)

15:00~16:00

食中毒の原因菌の一種である*Campylobacter jejuni* (*C. jejuni*) は、大気中では、急速に菌形態をらせん状から球形に変化させて、Viable But Non Culturable cells (VBNC: 生きていますが、人工培地で培養できない仮死状態) になることが知られています。これにより、死菌からの分離回収が難しく、正確な検査結果を得ることが困難とされています。現在までにいくつかの検出方法が存在していますが、当研究室ではラベルフリーによる*C. jejuni* の迅速評価方法を研究しています。本セミナーでは、*C. Jejuni* に対する検査の現状や課題、新しい評価研究成果などについて報告します。

## 講演者



国立大学法人 北海道大学大学院農学研究院 教授  
小関成樹 (こせき しげのぶ) 先生

北海道大学大学院農学研究科生物資源生産学専攻博士課程修了、博士(農学)。食品材料メーカー、農研機構 食品総合研究所研究員、タスマニア大学農学部(オーストラリア)客員研究員、内閣府食品安全委員会専門委員などを経て、2020年北海道大学大学院農学研究院教授に就任。現在は、微生物制御のための各種予測モデルの開発、非熱的微生物制御技術の開発、微生物学的リスク評価/管理の高度化に関する研究に従事している。食品科学工学会(北海道支部長)、食品微生物学会(評議員)、International Association for Food Protection (IAFP、日本支部長)に所属。

## 講演者

## 発表内容 微生物迅速検査装置「ELESTA® PixeeMo®」による分析事例

株式会社AFIテクノロジー  
取締役/創業者 円城寺 隆治 (えんじょうじ たかはる)

AFIテクノロジーは2022年6月よりSCREENグループ会社です。

ラベルフリー細胞分離装置「ELESTA CROSSOTER」、微生物迅速検査装置「ELESTA PixeeMo」など研究開発・製造・販売と多方面で協業を進めており、また京都大学医学研究科に産学共同講座「がん個別化医療開発講座」を設置、がん細胞を用いた治療効果予測システムの研究開発に取り組んでいます。

## お申込

<https://events.teams.microsoft.com/event/3513f292-3b88-4974-8f2b-4a3900e7cf9e@a54b00a2-87e8-4e92-a76d-de53269b7ddd>

## 参加費

無料

申込期限：2025年2月27日(木)正午まで

## 会場

Teams開催

※ご自身の所属機関のメールアドレスでの参加申込をお願いします。  
※誠に恐れ入りますが、競合・同業者様の参加はご遠慮頂いております。

